

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI米国株 (NYSE FANG+) トリプル・ベア」は、2022年4月21日に約款の規定に基づく信託期間の満了に伴い償還をいたしました。

当ファンドは、特定のユーロ円債 (米国次世代テクノロジー関連銘柄・インバース型3倍レバレッジ連動債) を主要投資対象とし、日々の基準価額の値動きがNYSE FANG+™指数 (米ドルベース) の値動きのおおむね3倍程度逆となる投資成果をめざして運用を行いました。

ここに謹んで設定日以降の運用状況および償還の内容をご報告申し上げます。

今後とも当社商品をご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

第2期末 (2022年4月21日)

償 還 価 額	515円93銭
純 資 産 総 額	132百万円
第2期	
騰 落 率	△15.3%
分配金 (税込み) 合計	-円

(注1) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書 (全体版) に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書 (全体版) は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書 (全体版) の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書 (全体版)」より該当の決算期を選択ください。

SBI米国株 (NYSE FANG+) トリプル・ベア

追加型投信／海外／株式／特殊型 (ブル・ベア型)

償還 交付運用報告書

第2期 (償還日2022年4月21日)

作成対象期間 (2021年4月22日~2022年4月21日)

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

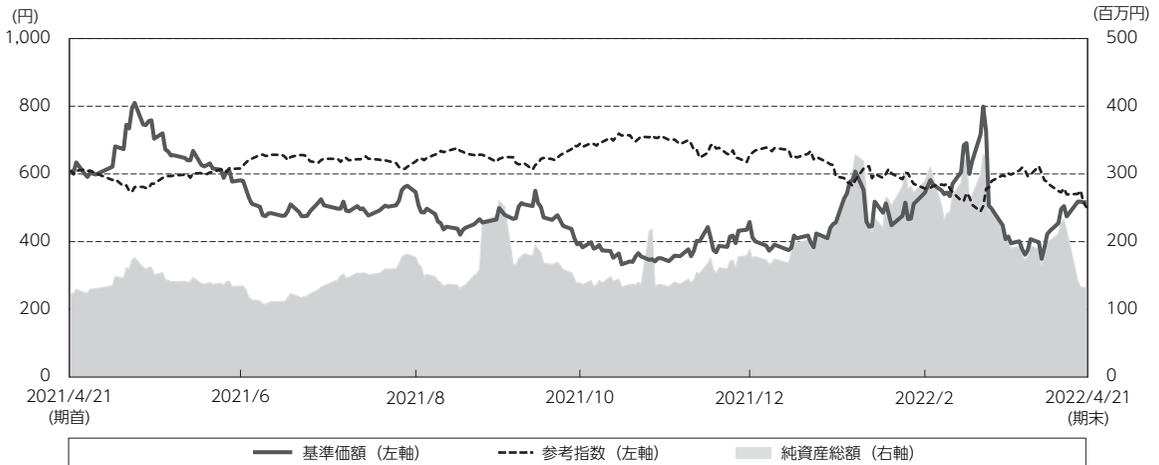
受付時間：営業日の9：00~17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<http://www.sbiam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2021年4月22日～2022年4月21日)



期 首： 609円
 期末(償還日)： 515円93銭
 騰 落 率： △15.3%

(注1) 参考指数は、NYSE FANG+TM指数 (米ドルベース) です。詳細はP13をご参照ください。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っているため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

当ファンドは、ユーロ円債に投資することにより、日々の基準価額の値動きがNSE FANG+指数 (米ドルベース) の概ね3倍程度逆となることを目指して運用を行っております。

- ・2021年11月頃から2022年3月上旬頃にかけて、FRB (米連邦準備理事会) がFOMC (米連邦公開市場委員会) で資産買入れ縮小 (テーパリング) を決定するとともに、2022年の利上げ見通しを示したことなどから、金融引き締め強化と長期金利の上昇が懸念され、指数は下落しました。当ファンドの基準価額は逆に上昇しました。

下落要因

- ・期初より2021年11月頃まで、経済再開期待が強まり米国をはじめ主要国の景気が回復を見せるなか指数は趨勢的に堅調に推移し、当ファンドの基準価額は逆に低下しました。
- ・2022年3月中旬から4月初にかけてウクライナ情勢において停戦への期待や長期戦との認識が強まり、一時的に高まったリスク回避の動きに落ち着きが見られたこと、米連邦準備制度理事会 (FRB) の金融引き締めへの楽観的な見方が一時的に強まったことなどから指数は比較的堅調に推移し、当ファンドの基準価額は逆に低下しました。

1万口当たりの費用明細

(2021年4月22日～2022年4月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 4	% 0.913	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(2)	(0.495)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(2)	(0.385)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	12	2.400	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(7)	(1.425)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.443)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(3)	(0.532)	開示資料等の作成・印刷費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	16	3.313	
期中の平均基準価額は、481円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

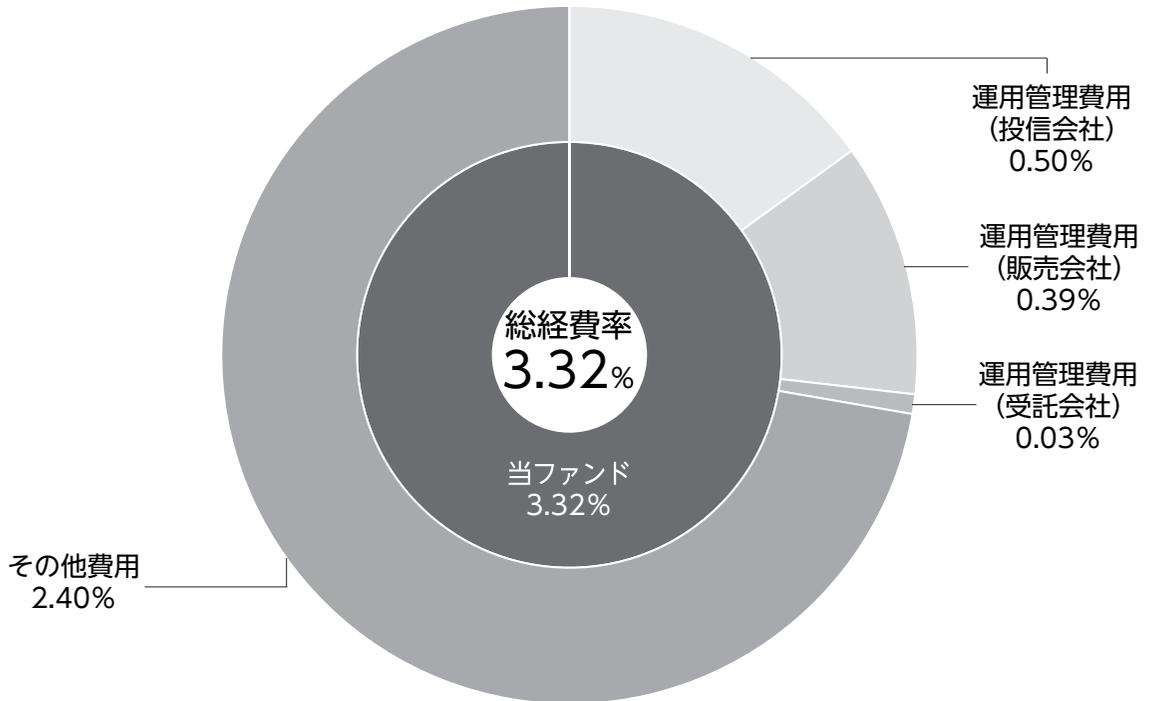
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.32%です。



(注1) 上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

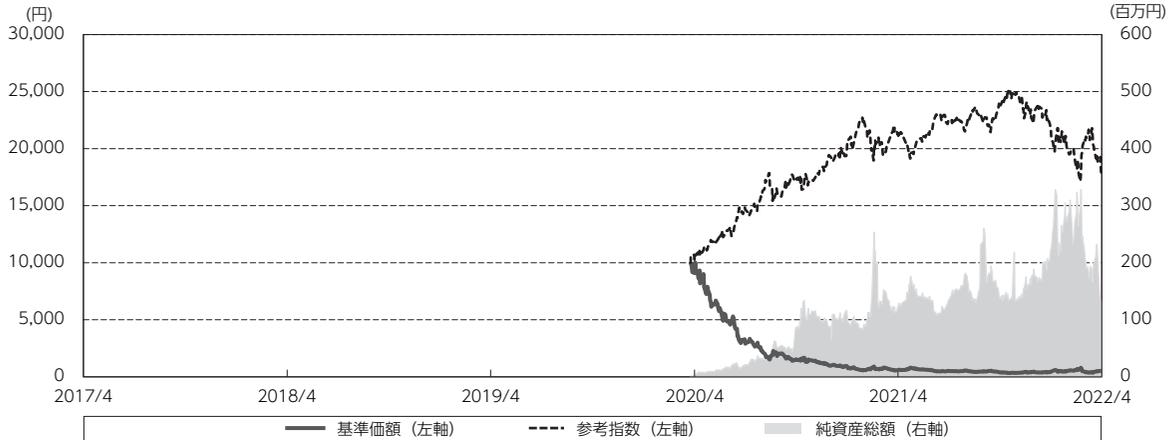
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2017年4月21日～2022年4月21日)



(注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ(2020年4月14日から2022年4月21日)のみの記載となっております。

(注2) 参考指数は、設定日(2020年4月14日)の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しております。

(注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

	2020年4月14日 設定日	2021年4月21日 決算日	2022年4月21日 償還日
基準価額 (円)	10,000	609	515.93
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	△93.9%	△15.3%
参考指数騰落率 (%)	—	113.2%	△17.6%
純資産総額 (百万円)	1	123	132

(注1) 参考指数は、NYSE FANG+TM指数(米ドルベース)です。詳細はP13をご参照ください。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2021年4月21日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2021年4月22日～2022年4月21日)

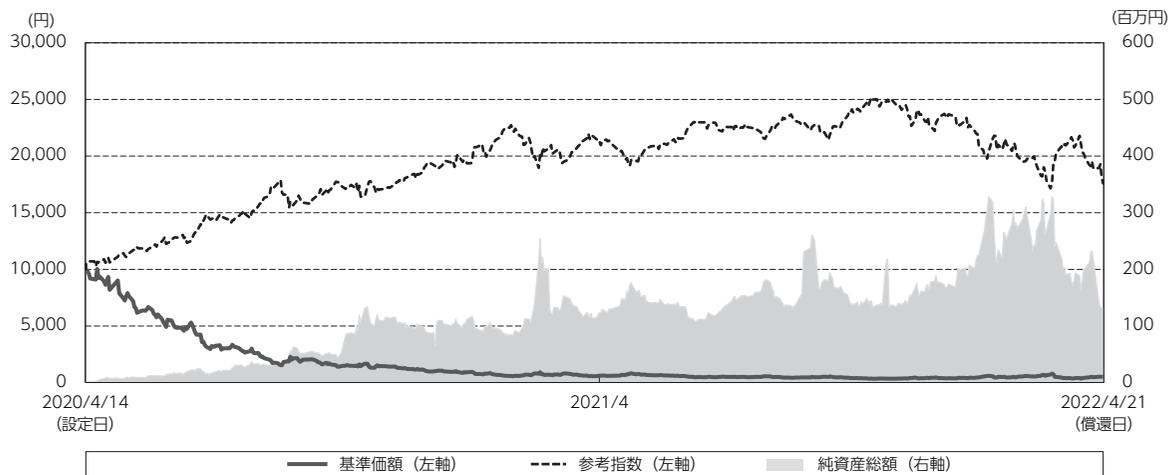
期初は、2021年11月頃まで、新型コロナウイルス変異株による感染拡大などはあったものの、ワクチン接種拡大や治療薬の開発への期待が強く経済再開期待が強まりました。一方、インフレ上昇により、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融緩和の縮小（金融正常化）による長期金利の上昇、企業業績、景気への悪影響が懸念されはじめました。こうした環境下、米国を中心とした大型テクノロジー株から構成されるFANG+指数は、長期金利がほぼ横ばいで推移するなか、足許の景気拡大や概ね好調な企業業績を背景に比較的堅調に推移しました。

2021年11月頃から2022年3月上旬頃にかけて、FRB（米連邦準備理事会）がFOMC（米連邦公開市場委員会）で資産買入れ縮小（テーパリング）を決定するとともに、2022年の利上げ見通しを示したことなどから、金融引き締め強化と長期金利の上昇が懸念され、指数は下落しました。2月に入ってからウクライナ情勢が緊迫化したことや対ロシア制裁による商品市況の急騰なども懸念され下落材料となりました。

その後、3月中旬頃から4月初まで、米国金融引き締めを巡り一時的に楽観的な見方が強まったことやウクライナ情勢に対する緊迫感が緩んだことなどから一時的に指数は上昇しました。しかしながら、期末にかけて長期金利の上昇基調が続くなか再び金融引き締めへの懸念が強まり、同時にインフレの景気への悪影響に対する懸念も強まったことなどから、大型テクノロジー株は下落へ転じて当期を終えました。

設定来の基準価額等の推移

(2020年4月14日～2022年4月21日)



(注1) 参考指数は、設定日（2020年4月14日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しております。
 (注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

○基準価額の主な変動要因

第1期（設定日～2021年4月）

上昇要因

当ファンドは、ユーロ円債に投資することにより、日々の基準価額の値動きがNYSE FANG+™指数（米ドルベース）の概ね3倍程度逆となることを目指して運用を行っております。

当期、新型コロナウイルス感染拡大による経済的打撃への対策として世界的に大規模な金融緩和や財政支援策がおこなわれたことや、期末に向けてワクチンが開発され接種が開始されたことがNYSE FANG+™指数の好材料となりました。また、コロナウイルス禍に高成長が期待されたグロース株が選好されたことなどから、NYSE FANG+™指数は2021年1月ごろまで、上昇基調となりました。このため、同時期、当ファンドの基準価額は下落基調が続き、基準価額の大きな上昇要因となったものではありませんでした。その後、2021年に入って、コロナワクチン接種拡大により経済活動が本格的に回復するとの期待から米長期金利が上ブレしたため、NYSE FANG+™指数の値動きは不安定となりました。2月から3月にかけて一時的な下落も見られ、その間基準価額の上昇も見られました。しかしながら、期末にかけて、景気の急回復に対し慎重な見方が強まったことから、米長期金利上昇が一服し、NYSE FANG+™指数は下支えられ、概ね横ばいの動きとなりました。

下落要因

新型コロナウイルス感染拡大による経済的打撃が懸念されましたが、世界的に大規模な経済対策が行われたことや、2020年末にかけてワクチン接種によるコロナウイルス感染拡大の収束が期待され

たことなどを背景に、NYSE FANG+™指数はおおむね上昇基調となりました。これが基準価額の下落要因となりました。

第2期 (2021年4月～2022年4月 (償還時))

上昇要因

当ファンドは、ユーロ円債に投資することにより、日々の基準価額の値動きがNYSE FANG+指数 (米ドルベース) の概ね3倍程度逆となることを目指して運用を行っております。

- ・2021年11月頃から2022年3月上旬頃にかけて、FRB (米連邦準備理事会) がFOMC (米連邦公開市場委員会) で資産買い入れ縮小 (テーパリング) を決定するとともに、2022年の利上げ見通しを示したことなどから、金融引き締め強化と長期金利の上昇が懸念され、指数は下落しました。当ファンドの基準価額は逆に上昇しました。

下落要因

- ・期初より2021年11月頃まで、経済再開期待が強まり米国をはじめ主要国の景気が回復を見せるなか指数は趨勢的に堅調に推移し、当ファンドの基準価額は逆に低下しました。
- ・2022年3月中旬から4月初にかけてウクライナ情勢において停戦への期待や長期戦との認識が強まり、一時的に高まったリスク回避の動きに落ち着きが見られたこと、米連邦準備制度理事会 (FRB) の金融引き締めへの楽観的な見方が一時的に強まったことなどから指数は比較的堅調に推移し、当ファンドの基準価額は逆に低下しました。

設定来の投資環境

第1期 (設定日～2021年4月)

NYSE FANG+™指数は、当期直前の2020年2月から3月にかけて、中国武漢市で発生した新型コロナウイルスの感染が世界規模で急拡大したことをきっかけに急落しました。その後、新型コロナウイルス感染抑制のためとられた行動制限措置による経済的打撃への対策として、世界的に大規模な金融緩和や財政的支援策がとられ株式市場は米国を中心に回復傾向となりました。さらに、新型コロナウイルス禍に在宅勤務、いわゆる巣ごもり需要が拡大したこと、景気後退と金利低下を背景にバリューストック株に対して高成長が期待されたグロース株が選好されたことなどから、NYSE FANG+™指数は2021年1月ごろまで、上昇基調となりました。2021年に入って、コロナワクチン接種拡大により集団免疫が達成され経済活動が急回復するとの期待から米長期金利が上ブレしたため、NYSE FANG+™指数の値動きは不安定となりました。2月頃から景気の急回復期待が強まり、グロース株のバリュエーション決定要素として重要な米長期金利が米10年債利回りで2%を目指す動きを見せると、NYSE FANG+™指数も下落し、当ファンドの基準価額上昇が見られました。しかしながら、金融緩和の継続をFRB (米連邦準備制度理事会) が示唆したこと、世界的に新型コロナウイルスの再感染拡大が見られたことなどから、景気の急回復に対し慎重な見方が強まりました。このような状況下、米長期金利上昇が一服し、NYSE FANG+™指数は下支えられ、概ね横ばいの動きとなりました。

第2期 (2021年4月～2022年4月 (償還時))

期初は、2021年11月頃まで、新型コロナウイルス変異株による感染拡大などはあったものの、ワクチン接種拡大や治療薬の開発への期待が強く経済再開期待が強まりました。一方、インフレ上昇により、米連邦準備制度理事会 (FRB) の金融緩和の縮小 (金融正常化) による長期金利の上昇、企業業績、景気への悪影響が懸念されはじめました。こうした環境下、米国を中心とした大型テクノロジー株から構成されるFANG+指数は、長期金利がほぼ横ばいで推移するなか、足許の景気拡大や概ね好調な企業業績を背景に比較的堅調に推移しました。

2021年11月頃から2022年3月上旬頃にかけて、FRB (米連邦準備制度理事会) がFOMC (米連邦公開市場委員会) で資産買い入れ縮小 (テーパリング) を決定するとともに、2022年の利上げ見通しを示したことなどから、金融引き締め強化と長期金利の上昇が懸念され、指数は下落しました。2月に入ってウクライナ情勢が緊迫化したことや対ロシア制裁による商品市況の急騰なども懸念され下落材料となりました。

その後、3月中旬頃から4月初まで、米国金融引き締めを巡り一時的に楽観的な見方が強まったことやウクライナ情勢に対する緊迫感が緩んだことなどから一時的に指数は上昇しました。しかしながら、期末にかけて長期金利の上昇基調が続くなか再び金融引き締めへの懸念が強まり、同時にインフレの景気への悪影響に対する懸念も強まったことなどから、大型テクノロジー株は下落へ転じて当期を終えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2021年4月22日～2022年4月21日)

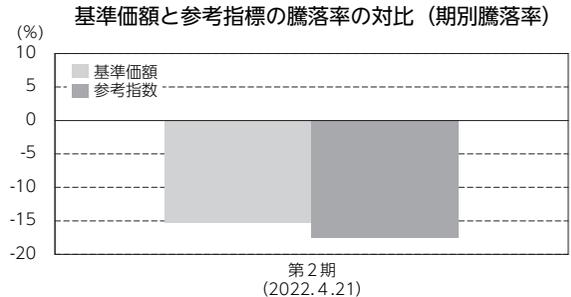
特定のユーロ円債（米国次世代テクノロジー関連銘柄・インバース型3倍レバレッジ連動債）を主要投資対象とし、日々の基準価額の値動きがNYSE FANG+™指数（米ドルベース）の値動きのおおむね3倍程度逆となる投資成果をめざして運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年4月22日～2022年4月21日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 参考指数はNYSE FANG+™指数 (米ドルベース) を使用しています。詳細はP13をご参照ください。
なお、参考指数は当ファンドの基準価額の騰落率との比較を容易にするためにプラスマイナスを逆に表示しています。

お知らせ

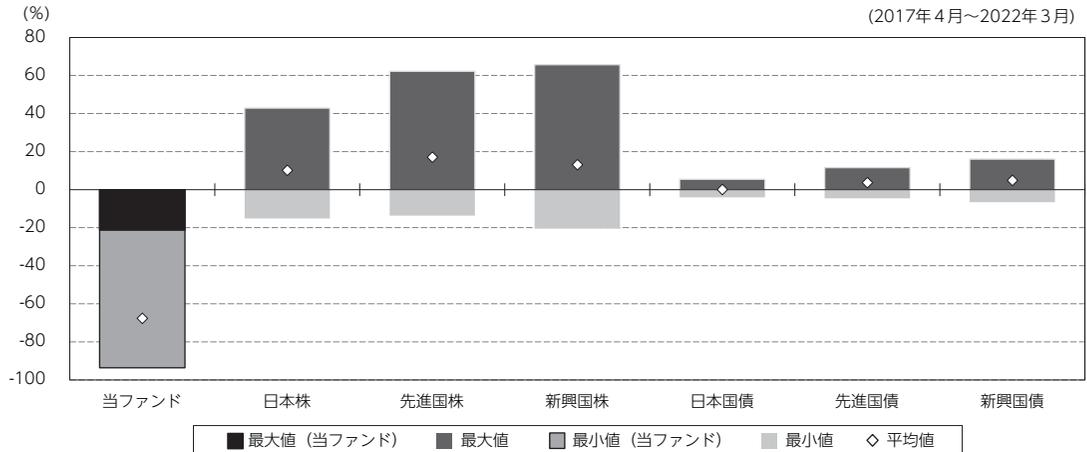
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）
信託期間	2022年4月21日まで（設定日：2020年4月14日）
運用方針	日々の基準価額の値動きがNYSE FANG+™指数（米ドルベース）の値動きのおおむね3倍程度逆となることをめざして運用を行います。
主要投資対象	特定のユーロ円債（米国次世代テクノロジー関連銘柄・インバース型3倍レバレッジ連動債、以下「ユーロ円債」といいます）を主要投資対象とします。
運用方法	主として、ユーロ円債に投資することにより、NYSE FANG+™指数（米ドルベース）の値動きのおおむね3倍程度逆となる投資成果をめざします。また、組入れユーロ円債の取引対象となるスワップ取引を通じて、実質的な為替ヘッジ効果の享受を目指します。
分配方針	毎決算時（年1回毎年4月21日。休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針により、分配を行います。 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）の全額とし、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。また、将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	△ 21.3	42.8	62.2	65.6	5.5	11.6	16.0
最小値	△ 93.6	△ 15.1	△ 13.6	△ 20.4	△ 4.1	△ 4.6	△ 6.6
平均値	△ 67.6	10.1	17.1	13.1	0.1	3.7	4.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2017年4月から2022年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては、設定日以降のデータが5年に満たないため、2020年4月14日(設定日)から2022年3月末のデータを基に算出しております。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2022年4月21日現在)

償還日現在、有価証券等の組入れはありません。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2020年4月14日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2022年4月21日		資産総額	142,422,317円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	10,069,427円
				純資産総額	132,352,890円
受益権口数	1,000,000口	2,565,348,345口	2,564,348,345口	受益権口数	2,565,348,345口
元本額	1,000,000円	2,565,348,345円	2,564,348,345円	1万口当たり償還金	515.93円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	2,026,582,128円	123,329,795円	609円	0円	0.0000%

償還金のお知らせ

1万口当たり償還金 (税込み)	515円93銭
-----------------	---------

<当ファンドの参考指数について>

参考指数は、NYSE FANG+™指数（米ドルベース）です。

NYSE FANG+™指数（米ドルベース）

NYSE FANG+™指数とは、高い知名度を有する米国上場企業を対象に構成された株価指数（米ドルベース）で、フェイスブック (Facebook)、アマゾン・ドット・コム (Amazon.com)、ネットフリックス (Netflix)、グーグル (Google) など10銘柄に等金額投資したポートフォリオで構成され3カ月に1回、等金額となるようリバランスされます。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

● NYSE® FANG+™ 指数について

参照元であるICE Data Indices, LLC (以下「ICEデータ」)は、許諾を得て使用しているものです。「NYSE® FANG+™ 指数」は、ICEデータまたはその関連会社のサービスマーク/商標であり、SBIアセットマネジメント株式会社はNYSE® FANG+™ 指数(「本指数」)とともにSBI米国株(NYSE FANG+)トリプル・ベア(以下「本ファンド」)に関連して使用することを許諾されています。SBIアセットマネジメント株式会社は、ICEデータ、その関連会社または第三者サプライヤ(以下「ICE データ及びそのサプライヤ」)から後援(支援)、承認、販売または販売促進のいずれも受けていません。ICEデータ及びそのサプライヤは、一般的には証券への投資の推奨、具体的には本ファンドへの投資の推奨について、また一般的な株式市場の動動きに追従するにあたっての本指数の信頼性もしくは能力についていかなる表明または保証も行いません。ICEデータとSBIアセットマネジメント株式会社との関係は、所定の商標及び商号ならびにそれらの本指数または構成銘柄の使用許諾に限定されます。本指数は、ICEデータがライセンサーまたは本ファンドもしくはその保有者を考慮することなく決定し、構成し、算出するものです。ICEデータは、本指数を決定、構成または算出する際に、ライセンサーまたは本ファンドもしくはその保有者のニーズを考慮する責任を負いません。ICEデータは、本ファンドの設定時期、価格もしくは数量の決定または本ファンドの価格、販売、購入もしくは償還の決定または算出について責任を負わず、それらに関与していません。特定のカスタム指数算出サービスを除き、ICEデータが提供する情報はすべて、一般的な性質のものであり、ライセンサーその他個人、法人または個人のグループのニーズに合わせたものではありません。ICEデータは、本ファンドの管理、マーケティングまたは取引に関連していかなる義務も責任も負いません。ICEデータは、投資アドバイザーではありません。指数に証券が含まれていても、ICEデータが当該証券の購入、販売、保有を推奨するものではなく、投資アドバイスを意味するものでもありません。

ICEデータ及びそのサプライヤは、指数、指数データ及びそれらに含まれ、関連し、または由来するあらゆる情報(「指数データ」)を含め、市場性または特定の目的もしくは使用への適合性の保証を含むあらゆる保証及び表明(明示的か黙示的かを問わず)を否認します。ICEデータ及びそのサプライヤは、「現状有姿」で提供される指数及び指数データの適切性、正確性、適時性または完全性に関して、いかなる損害賠償金または賠償責任の対象にもなりません。お客様は、指数及び指数データをお客様ご自身のリスクで使用するものとします。

Source ICE Data Indices, LLC ("ICE Data"), is used with permission. "NYSE® FANG+™ Index" is a service/trade mark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates and has been licensed, along with the NYSE® FANG+™ Index ("Index") for use by SBI Asset Management Co., Ltd. in connection with SBI US Equity Fund(NYSE FANG+)Triple Bear (the "Product"). Neither the SBI Asset Management Co., Ltd., as applicable, is sponsored, endorsed, sold or promoted by ICE Data Indices, LLC, its affiliates or its Third Party Suppliers ("ICE Data and its Suppliers"). ICE Data and its Suppliers make no representations or warranties regarding the advisability of investing in securities generally, in the Product particularly, the Trust or the ability of the Index to track general stock market performance. ICE Data's only relationship to SBI Asset Management Co., Ltd. is the licensing of certain trademarks and trade names and the Index or components thereof. The Index is determined, composed and calculated by ICE Data without regard to the LICENSEE or the Product or its holders. ICE Data has no obligation to take the needs of the Licensee or the holders of the Product into consideration in determining, composing or calculating the Index. ICE Data is not responsible for and has not participated in the determination of the timing of, prices of, or quantities of the Product to be issued or in the determination or calculation of the equation by which the Product is to be priced, sold, purchased, or redeemed. Except for certain custom index calculation services, all information provided by ICE Data is general in nature and not tailored to the needs of LICENSEE or any other person, entity or group of persons. ICE Data has no obligation or liability in connection with the administration, marketing, or trading of the Product. ICE Data is not an investment advisor. Inclusion of a security within an index is not a recommendation by ICE Data to buy, sell, or hold such security, nor is it considered to be investment advice.

ICE DATA AND ITS SUPPLIERS DISCLAIM ANY AND ALL WARRANTIES AND REPRESENTATIONS, EXPRESS AND/OR IMPLIED, INCLUDING ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR USE, INCLUDING THE INDICES, INDEX DATA AND ANY INFORMATION INCLUDED IN, RELATED TO, OR DERIVED THEREFROM ("INDEX DATA"). ICE DATA AND ITS SUPPLIERS SHALL NOT BE SUBJECT TO ANY DAMAGES OR LIABILITY WITH RESPECT TO THE ADEQUACY, ACCURACY, TIMELINESS OR COMPLETENESS OF THE INDICES AND THE INDEX DATA, WHICH ARE PROVIDED ON AN "AS IS" BASIS AND YOUR USE IS AT YOUR OWN RISK.

The English version of the disclaimer will prevail.